

ビル用マルチエアコン室外機

LXYRフレッシュマルチシリーズ据付説明書

●本説明書は「据付と取付工事」について記述したものです。...
●据付作業は、必ず「据付と取付工事」について記述した内容を厳密に守って行ってください。

適用室外機 FDCRP224~280

安全上のご注意

- 据付作業は、この「安全上の注意」をよくお読みの上、作業を行ってください。
●ここに記した注意事項は、必ず「▲警告」「▲注意」をよくお読みの上、作業を行ってください。

▲警告

●電圧は、お取付の上の電圧又は仕様値に準拠する。
●据付作業は、必ず「据付と取付工事」をよくお読みの上、作業を行ってください。
●ここに記した注意事項は、必ず「▲警告」「▲注意」をよくお読みの上、作業を行ってください。

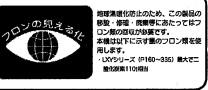
▲注意

●お取付の上の電圧又は仕様値に準拠する。
●据付作業は、必ず「据付と取付工事」をよくお読みの上、作業を行ってください。
●ここに記した注意事項は、必ず「▲警告」「▲注意」をよくお読みの上、作業を行ってください。

冷暖R410A対応としての注意

- R410A対応機器は必ずお読みください。R410A対応機器は、必ず「据付と取付工事」をよくお読みの上、作業を行ってください。
●R410A対応機器は、必ず「据付と取付工事」をよくお読みの上、作業を行ってください。

Table with 2 columns: 対応機器種別, 対応機種. Lists various Mitsubishi models compatible with R410A.



1. 据付の前に (機種・電源仕様・配管・必要別売品等を確認し正しく行ってください。)

- 据付作業を行う前に必ず読んで、本書に従って作業をしてください。
●室内機の据付については、室内機の据付説明書をご覧ください。
●据付作業は、別売の別売品 (分岐管セット、ヘッダーセット) が必ず必要です。

Table with 4 columns: 名称, 個数, 使用箇所, 備考. Lists components like 記録, エッジング, 付設配管, 取扱説明書 with their quantities and usage.

組合せパターン

Table with 2 columns: 室外機, 室内機. Shows combinations of outdoor and indoor units with their respective connection counts.

- 【別売品】
据付の順には別途冷媒配管の配管部品が必要で、冷媒配管の配管部品に関しては、分岐管セット (型式: DIS) とヘッダーセット (型式: HEAD) をご用意する必要があります。

2. 据付場所 (お客様の承認を得て据付場所を選んでください。)

- 2-1. 据付場所の選定
○据付が困難である所
○取込、取出口に障り物がない所

- 注意
(ア) ショートサーキットの恐れのある場合はフレックスフロアアダプタを付けてください。
(イ) 可燃性ガスの漏れのある場所へは設置しないでください。

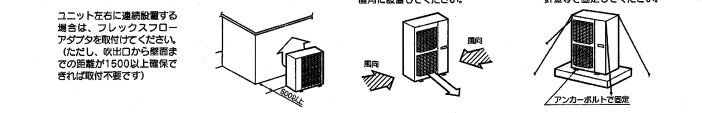


Table with 2 columns: 項目, 単位 (mm). Lists clearance requirements for L1, L2, L3, L4 dimensions.

3. ユニットの搬入・据付

▲警告 ユニットにロープ掛けを行い、搬入する場合は必ずユニットの傾きのずれを厳重に管理してください。

- 3-1. 搬入
●搬入経路を決めて、荷物のまま据付位置まで搬入してください。
●搬入する場合は、ユニットを吊るすようにして吊り上げてください。

4. 冷媒配管工事

- 4-1. 配管仕様の決定 (室内機の仕様と据付場所に合わせ、以下の内容で選定してください。)

- 配管工事には、必ず(1)裏の表、配管経路、第一分岐からの許容配管長、許容高低差(ヘッド値)の使用制限を守り施工してください。
●配管途中にトラップ(水切り) 扇風機(風切り) 配管は始末する原因となりますのでご注意ください。

Table for main branch (1) showing dimensions for outdoor and indoor units. Columns include 室外機, 室内機, and various diameter options.

Table for indoor branch (2) showing dimensions for indoor units. Columns include 室内機台数, 室内機, and various diameter options.

Table for indoor branch (3) showing dimensions for indoor units. Columns include 室内機台数, 室内機, and various diameter options.

- ※1. 配管長が90mを超える場合は使用できません。
※2. 主管長が90mを超える場合は使用できません。
※3. 室内機-室内機間高低差が10mを超える場合は使用できません。

6-3. 信号線接続要領

本機では従来の通信方式であるスーパーリンク（以下「旧SL」と表記します）と新通信方式であるスーパーリンクII（以下「新SL」と表記します）の2通りの通信方式が選択できます。それぞれ以下の特徴、制限がありますので接続する室内機や室外機に合わせた選択してください。
 新SL未対応の室外機、室内機、集中制御機器が接続されているネットワークに信号線を接続する場合は旧SLが対応していても旧SLでの通信を選択してください。

通信方式	従来の通信方式 (旧SL)	新通信方式 (新SL)
室外機の設定 (SW5-5)	ON	OFF (出荷時設定)
同一ネットワーク内の室内機台数	最大48台	最大128台
同一ネットワーク内の室外機台数	最大48台	最大32台
信号線 (合計長さ)	1000mまで	ケーブル長以外を使用する場合は2000mまで シールド線 (MVV5) 0.75mm ² を使用する場合は1500mまで シールド線 (MVV5) 1.25mm ² を使用する場合は1000mまで
接続可能な室内機	1000mまで	1000mまで
新SL未対応機 (FDPOCOO2LXシリーズ)	新SL対応機 (FDPOCOO2LXシリーズ)	新SL対応機 (FDPOCOO2LXシリーズ)
接続可能な室外機	新SL対応機 (FDPOCOO2LXシリーズ)	新SL対応機 (FDPOCOO2LXシリーズ)
	選択可能機	

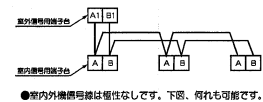
注：FDP224.280型は室内機1台につき通信線は2台分として計算してください。

●信号線はDC5Vですので絶対に200Vの配線を接続しないでください。基板上の保護ヒューズが動作します。

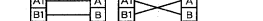
- ①信号線に200Vが印加されないようになっていることを確認してください。
- ②電源投入前に信号線端子を接続してください。信号線端子が100Ω以下の場合、電源線と信号線端子に接続している可能性があります。接地抵抗値は4600Ω/(100Ω×3台)以下にしてください。接地抵抗値は4600Ω/(100Ω×3台)以下にしてください。接地抵抗値は4600Ω/(100Ω×3台)以下にしてください。
- ③接地抵抗値が100Ω以下になる場合は同一ネットワーク上の室内機台数を減らすため、一時的に信号線を外して複数のネットワークに分断し、個別に確認してください。

- 室内・室外信号線
- A1・B1に室内・室外機間信号線をつないでください。
 - A2・B2に室外機間信号線をつないでください。

(1) 室外機1台の場合



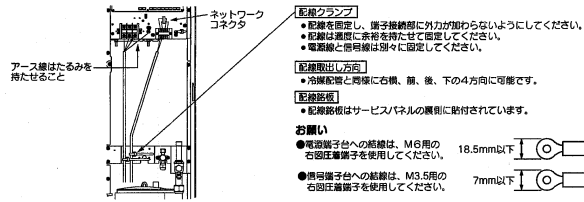
●室内外機間信号線は極性が反転します。下記、例も可能です。



(3) 下図のように信号線を接続する方法も可能です。



電源線・信号線接続



リモートコントローラ配線仕様

- リモコン線は0.3mm²が標準です。延長は600mまで可能です。
- 100m以上の場合は、必ず必ず接地を確保してください。
- 最終室内機がFDPOCOO2LXシリーズの場合30、FDPOCOO2LXシリーズの場合2台の結合を使用してください。

長さ (m)	配線太さ
100~200以内	0.8mm ²
~300以内	0.75mm ²
~400以内	1.25mm ²
~800以内	2.0mm ²

7. コントローラーの設定

7-1. コントラクトアドレスの設定

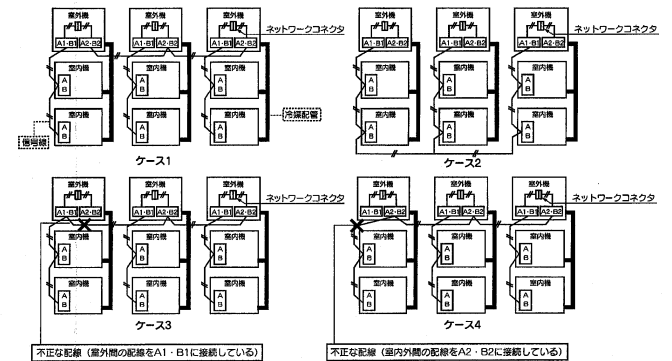
本制御システムでは、複数の空調機を室外機と室内機及びリモコンからなるコントローラを、各コントローラ内のマイコンにより連携制御するものです。アドレスの設定は室外機・室内機の間でも行ってください。室外機・室内機間で電源を入れてください。期間は1分を目安にしてください。
 本機では従来の通信方式（旧SL）と新通信方式（新SL）の2通りの通信方式が選択できます。それぞれ16-30表の特徴、制限がありますので接続する室内機や室外機に合わせた選択してください。
 新SL未対応の室外機、室内機、集中制御機器が接続されているネットワークに信号線を接続する場合は旧SLが対応していても旧SLでの通信を選択してください。アドレス設定後は必ず運転を確認してください。

●アドレス設定の概要

アドレス設定方法は下記の方法があります。自動アドレスは従来の手法が異なります。本製機をよく読んでご利用願います。

通信方式	新SL	旧SL
複数の冷暖房系を接続する 接続する場合 (例えば集中制御を行う場合)	ケース1 複数の冷暖房系を接続する信号線が室外機間で接続されている場合 (ネットワークコネクタを外した際に各冷暖房系がシステムで分離される状態)	自動 自動 自動 自動
冷暖房系が1系統の場合 (信号線が室外機をまたがない場合)	ケース2 複数の冷暖房系を接続する信号線が室内機間で接続されている場合	× ^{※1} OK × OK
		OK OK OK OK

- ※1 A1・B1に室外機間信号線を接続しないでください。アドレス設定ができない場合があります。(ケース3)
- ※2 A2・B2に室内機間信号線を接続しないでください。アドレス設定ができない場合があります。(ケース4)



●アドレスNo.設定

室内のアドレス設定SW1-4及びSW5-2、室外基板上のアドレス設定SW1、2を「アドレス設定方式一」の表のように設定してください。

室内機	SW1, 4	SW3, 4	SW5-2	室内機アドレス設定	SW1 (SW3)	SW2 (SW4)	室外機アドレス設定
室内機	SW1, 4	SW3, 4	SW5-2	室内No. 000	10位	10位	室外No. 000
室外機	SW1, 2	SW3, 4	SW5-2	室外No. 000	10位	10位	室外No. 000

●アドレス設定方式一 [] 内は旧SL用の数値

	新SL対応機		新SL未対応機	
	室内機アドレス設定	室外機アドレス設定	室内機アドレス設定	室外機アドレス設定
自動アドレス (旧SL/新SL)	000~127 (47)	00~31 (47)	00~47	00~47
1冷暖房系自動アドレス (旧SL/新SL)	000	49	49	49
複数冷暖房系自動アドレス (新SLのみ)	000	49	00~31	不可

- 本表以外の数値に設定しないでください。エラーが出る場合があります。
- FDPOCOO2LXシリーズのネットワークは新SLのネットワークに準拠する場合は、通信方式は旧SLを選択し、自動アドレス設定してください。
- FDP224.280型は集中制御/分散制御が可能な2種類の制御方式を兼ね備えているため、制御方式を室内機No. SWを決定してください。
- 室外No. は室外機間の室内機にあり、どの室外機とどの室内機が接続されているかを示すNo.です。冷暖房設定された室内・室外機は同一室外No.となるようにしてください。
- 室内No. は室内機を確認するためのNo.です。ネットワークの他の室内機と重複しないようにしてください。

以下の手順は特に新しい場合は通信方式として新SLを選んだ場合の手順です。旧SLを選んだ場合は [] 内の数値に読み替えて作業を行ってください。

自動アドレス設定 新SL/旧SL共通 [] 内は旧SL用の数値

- ①室外機アドレス設定 電源投入前に次のとおり設定してください。電源投入することで室外機アドレスが登録されます。室外機No. スイッチを00~31 (旧SLの場合は00~47) の範囲で設定してください。ネットワーク上の他の室外機No. と重複しないように設定してください。
- ②室内機アドレス設定 電源投入前に次のとおり設定してください。電源投入することで室内機アドレスが登録されます。室内機No. スイッチを000~127 (旧SLの場合は00~47) の範囲で設定してください。室外機No. スイッチは対応する室外機No. 00~31 (旧SLの場合は00~47) の範囲で設定してください。ネットワーク上の他の室内機No. と重複しないように設定してください。期間は1分を目安にしてください。

自動アドレス設定 新SL/旧SL共通 [] 内は旧SL用の数値

新SLでは従来の冷暖房系が1系統の場合の自動アドレス設定に加え、複数の冷暖房系を信号線で接続する場合でも室内機の自動アドレス設定が可能です。ただし、配線方法、乗布がありますので本製機をよく読んで実施願います。

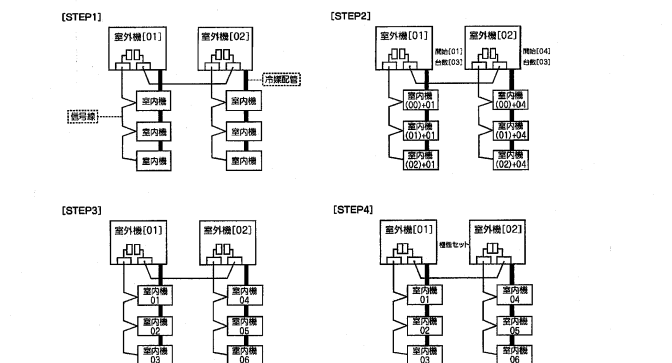
- (1) 冷暖房系が1系統の場合 (新SL/旧SL共通 [] 内は旧SL用の数値)
 - ①室外機アドレス設定 電源投入前に次のとおり設定してください。室外機No. スイッチを00~31 (旧SLの場合は00~47) の範囲で設定してください。ネットワーク上の他の室外機No. と重複しないように設定してください。
 - ②室内機アドレス設定 電源投入前に次のとおり設定してください。室内機No. スイッチが000 (旧SLの場合は00) に設定されていることを確認してください。室外機No. スイッチが000 (旧SLの場合は00) に設定されていることを確認してください。
 - ③室外機-室内機間で電源を入れてください。期間は1分を目安にしてください。(2)の手順のように7セグを設定を行う必要はありません。③室外機間のセグに表示される室内機台数と実際に冷暖房が接続されている室外機台数一致するか確認してください。
- (2) 冷暖房系が複数の場合 (新SLのみ可能。旧SLの場合、自動設定でアドレス設定してください)

(冷暖房系を接続する信号線が室外機間で接続されており、通信方式として新SLを選択した際のみの実施が可能です。)

操作手順 (各室外機で実施願います)

- [STEP1] (電源投入前実施内容)
 - ①室外機アドレス設定 電源投入前に次のとおり設定してください。室外機No. スイッチを00~31 (旧SLの場合は00~47) の範囲で設定してください。ネットワーク上の他の室外機No. と重複しないように設定してください。
 - ②室内機アドレス設定 電源投入前に次のとおり設定してください。室内機No. スイッチが000 (旧SLの場合は00) に設定されていることを確認してください。室外機No. スイッチが000 (旧SLの場合は00) に設定されていることを確認してください。各室外機間のネットワークコネクタ (白色2P) を外してください。(接続したまま電源投入される状態となります。)
- [STEP2] (電源投入と自動アドレス設定)
 - ①室外機-室内機間で電源を入れてください。期間は1分を目安にしてください。
 - ②各室外機の7セグのP1 "1" を選択して確定します。自動アドレス開始を入力してください。
 - ③各室外機の7セグのP32で室内機の開始アドレスを入力してください。
 - ④開始アドレスを設定すると接続台数入力表示に戻ります。
 - ⑤各室外機の7セグで接続台数を入力してください。各室外機間の接続台数を入力願います。(7セグのP33で入力できます) 接続台数入力完了後7セグ表示は「AUX」となり点滅します。
- [STEP3] (自動アドレス完了確認)
 - ①室内機アドレス決定 室内機アドレスが決定したら7セグが「AUE」となり点滅します。このときエラーがあれば「AOC」と表示となります。各室外機の状態を確認願います。
 - ②室内機接続台数により決定するまで10分程度かかる場合があります。
- [STEP4] (ネットワーク確認)
 - ①ネットワーク確認 各室外機に「AUE」表示を確認したら5分待たしてネットワークコネクタを接続してください。
 - ②ネットワーク機能性確認 ネットワークコネクタの接続を確認後、ネットワークの機能性確認のため、圧縮の室外機 (1台のみ) より7セグのP34 "1" を選択して確定してください。
 - ③設定完了確認 ネットワークが確定したら各室外機の7セグに「End」を表示します。「End」表示は7セグ操作もしくは3分経過後消滅します。

	STEP1	STEP2	STEP3	STEP4
内電源	②OFF	③ON	-	-
外電源	②OFF	③ON	-	-
室内機	④0000	-	-	-
室外機 (室内/室外 No. SW)	⑤01.02 (例)	-	-	-
ネットワークコネクタ	⑥外	-	-	⑥接続 (各室外機)
自動アドレス開始	-	⑦各室外機で開始設定セット	-	-
開始アドレス設定	-	⑧外01:101 (例) 外02:104 (例)	-	-
接続台数設定	-	⑨外01:103 (例) 外02:103 (例)	-	-
機能性確認	-	-	-	⑩任意室外機から7セグP34セット
7セグ表示	-	⑪「AUX」 (点滅)	⑫「AUE」 (点滅) エラー時は「AOC」表示	⑬「End」



- 同一冷暖房系内のアドレス設定は室外機の順番に決定されますので、必ずしも図のように室外機から近い順番に付されるわけではありません。
- 必ず全ての室内機の電源が入っていることを確認してください。
- 設定完了後リモコンの電源スイッチを押すと決定した室内機アドレスNo.と室外機アドレスNo.が表示されます。
- 1つのリモコンで複数台制御する場合でも自動アドレス設定は可能です。
- 1台制御したアドレスを変更してもリモコンに反映されません。
- 自動アドレス設定を変更したい場合は、リモコンで行う「アドレス変更」もしくは室内機アドレススイッチで行う「手動設定」により変更が可能です。変更する場合はネットワーク上の他のアドレスNo.と重複しないよう設定してください。
- 自動アドレス終了後は必ず運転を確認し、全ての室内機、室外機が正常に運転できるように確認し各室内機のアドレスを確認してください。

アドレス変更 (新SLのみ可能)

「アドレス変更」とは「自動アドレス設定」で既に設定した室内ユニットアドレスをリモコンで変更したい場合に使用します。従ってリモコンによるアドレス変更ができる条件は次の通りとなります。

	室内機アドレス設定	室外機アドレス設定
室内No. SW	室内No. SW	室外No. SW
1冷暖房系自動アドレス	000	49
複数冷暖房系自動アドレス	000	49

この条件以外のアドレス設定の場合に「アドレス変更」を選択した時点でリモコンにエラー表示が持続します。
 ドット表示: 「操作完了」 (3秒点灯)

